

## 碧峯奨学生インタビュー | 李洙晶さん<IE ビジネススクール MBA>

育児と仕事を両立しながら MBA 取得 グローバル企業でマーケティングに挑む

在日同胞の寄付と韓国政府の支援により 1963 年に設立された韓国教育財団は、在日同胞学生をはじめとする学生の学びを支援するため、長年にわたり奨学金事業を行ってきた。2003 年には、グローバルな舞台で活躍を志す若者を支援するため、「碧峯奨学基金」を創設。今回は、その支援を受けて IE ビジネススクールで MBA を取得し、現在はアマゾンジャパンで動画配信サービスの宣伝マーケティングを担当する李洙晶さんに話を聞いた。

**Q：現在のお仕事について教えてください。**

A：現在は、アマゾンジャパンで動画配信サービスの宣伝マーケティングを担当しています。アマゾンにはグローバルな人材が集まっており、英語でのコミュニケーションスキルはもちろん、多様なバックグラウンドを持つ人材と仕事を進めるマネジメント能力や戦略的思考が求められます。そうした力は、MBA で身に付けたものが大きいと感じています。

**Q：MBA を目指すまでの歩みについて教えてください。**

A：大学卒業後は、一貫してエンターテインメントビジネスに関わってきました。その後、MBA を志して受験し、合格しましたが、結婚のために一時見送ることになりました。出産ののち仕事に復帰し、育児をしながらキャリアを積み上げていきました。

**Q：再び MBA 取得を考えるようになったきっかけは何でしたか。**

A：公私ともに忙しい日々を送る中で、MBA 取得への思いが再び湧き上がってきました。そんなとき、オンラインと対面を組み合わせたハイブリッド講義の MBA プログラムを提供する、スペインの首都マドリードの IE ビジネススクールの存在を知りました。同校を志したのは、起業家育成と多様化を重視したプログラムが高く評価されていたからです。

**Q：碧峯奨学基金には、どのように出会ったのですか。**

A：育児をしながらの生活で、金銭的な不安もありましたが、ちょうどその頃、碧峯奨学金のことを知りました。学費の問題もありましたが、在日として次世代への懸け橋となるという同基金のミッションに賛同したこと、そして支援を受けて同胞コミュニティに還元したいという思いも重なり、応募しました。

**Q：支給が決まったときのお気持ちはいかがでしたか。**

A：支給が決まったときは、「グローバルに活躍し、社会に貢献する人材になりたい」と、決意を新たにしました。

**Q：MBA では、どのように学ばれたのですか。**

A：コロナ禍の 2021 年 2 月に開講し、日本にしながらオンライン受講するとともに、マドリード現地での対面授業を育児と両立させました。同 MBA には、100 以上の国・地域からさまざまなバックグラウンドを持つ学生を集まっています。そのため、授業や課題からの知識だけでなく、グループワークを通じて得るものも多く、リーダーシップを学べる貴重な経験にもなりました。

**Q：育児や仕事と MBA の両立は大変でしたか。**

A：就学前と小学校低学年の 2 人の育児をしながら、仕事もこなし、受講を続けました。世界各地からの学生で編成されたチームでは、時差の影響で深夜や早朝にミーティングを行うこともありました。睡眠時間を削って研究課題に取り組むなど、自身の体力の限界を超えるように感じることもありましたが、その分、タイムマネジメントのスキルが鍛えられました。

**Q：多忙な日々を乗り越えて MBA を修了したとき、どのような思いがありましたか。**

A：卒業式はマドリードで開かれ、支え続けてくれた家族とともに出席しました。クラスメイトと初めて対面できたことは感激でしたし、家族とマドリードの街中を巡ることもでき、忘れられない思い出となりました。

**Q：MBA での学びは、その後のキャリアにどのように生きていますか。**

A：MBA での学びは、大きな財産になりました。MBA の学友の紹介がきっかけとなり、現在勤務しているアマゾンジャパンへの転職にもつながりました。世界的なグローバル企業で働くうえで、多様な人材と協働する力や戦略的思考など、MBA で身に付けた経験が生きていて感じています。

**Q：今後挑戦したいことはありますか。**

A：MBA やこれまでの仕事での経験を生かし、将来はアジアのコンテンツビジネスのグローバル展開にも関わっていきたいと考えています。また、仕事と育児の両立に悩む女性への助言や指導を行う「メンタリング」にも取り組んでいきたいです。

**Q：後続く人へ、どのような姿を示したいですか。**

A：子育てをしながら MBA を取得し、キャリアアップできることを示す一つのケーススタディとなることで、後続く若い人たちに貢献したいと考えています。

**Q：碧峯奨学基金の意義について、どのように感じていますか。**

A：碧峯奨学金は、学資のサポートだけでなく、在日同胞同士のネットワークを得る機会にもなりました。同胞同士が集まるコミュニティが少ない中で、同じ志を持ち、奮闘している同胞を知ることは、大きな励みになりました。

**Q** : 現在学んでいる奨学生や MBA を目指す人へ、メッセージをお願いします。

**A** : 自分の目標に向かって努力する時間は、かけがえのないものだと思います。MBA は、視野を広げ、視座を高めしてくれるものでした。意欲と関心があれば、ぜひトライしてほしいです。